

天王寺舞楽

第一部 秦姓の舞

「天王寺」の舞楽のみ都に恥はずかず——吉田兼好が「徒然草」で語るよう
に、天王寺樂所は、古來より大内（宮中・南都奈良）と並ぶ「三方樂所」の
一つとして建立された重要な役割を担っていました。大阪の四大天王寺は、聖德太子に
よって創建され、毎年9月に太子の御靈を慰める「聖德太子祭」をはじめ、
様々な舞楽法会で人々を喜ばせてきました。天王寺樂所は、毎年9月に太子の御靈を慰める
所によって奏される「天王寺舞樂」は貴重な芸能として知られ、現在は天
王寺樂所「聖徳太子祭」によって大切に継承され、国の重要無形民俗文化財にも
指定されています。

本年は、聖徳太子の千四百年御聖忌の年に当たります。天王寺樂所は、
太子自身が秦河勝の子孫を中心編成したと言い伝えられており、そこ
で伝承された独特の舞態を持つ天王寺舞樂は「秦姓の舞」とも呼ばれます。
このたびは、太子の御聖忌を記念して、その固有性が際立つ主要な演
目を取り抜いてお届けします。

第二部 聖靈会の舞樂

第一部「秦姓の舞」では、宮中・南都とは一線を画す象徴する舞態を持つといわれました（「蘇莫者」と「採桑老」）を覗いただきます。「蘇莫者」はある説では、聖徳太子が馬上で吹いた笛
（尺八）に感應した山神が舞う姿をかたどしたものと伝えられていることから、天王寺では
聖徳太子に扮した笛奏者が舞台の近くで演奏する、とう演奏が伝わっています。「採
桑老」は平安時代に宮中での舞の伝統が途絶えようにならたどり、天王寺樂人が勅命
で宮中樂人には再伝承したとされる舞です。現在この舞は天王寺樂所でのみ伝承されてい
ます。

四大天王寺の石舞台で洗練された躍動感に溢れる舞姿を、どうぞお楽しみください。

行道



蘇莫者



採桑老



行道



一曲



蘇莫古



二曲



長慶子

令和3年9月18日(土)午後2時開演(午後4時15分終演予定)

◎入場料金(税込)=1等席 5,100円/学生 3,600円
2等席 4,100円/学生 2,900円

*障害者の方は割引 없습니다。また、車椅子用スペースがございます。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。

*出演者などの変更の場合はご了承ください。

予約開始

[電話] 国立劇場チケットセンター【午前10時~午後6時】
0570-07-9900 03-3230-3000
〔一部IP電話等〕
[インターネット]
[国立劇場チケットセンター]



■窓口販売開始 8月19日(木)(チケット売場 午前10時~午後6時)

*窓口販売用に枠でのお取り置きはございません。

■ブリゲード チケット番号 0570-02(02)9999 <https://tpia.jp/>
E+(イープラス) <https://eplus.jp/>

東京・中藏門

国立劇場

大劇場

〒102-8656 千代田区隼町4-1
03-3265-7411(代表)
<https://www.ntj.ac.go.jp/>

ご来場されるお客様へのお願い

- ご入場の際、サーモグラフィーによる検温を行います。発熱等の症状がある場合、入場をご遠慮いただけます。
- 列にお並びの際は、他のお客様との間隔を空けてください。
- 必ずマスクを着用願います。ワクチン接種済みの方もマスクをご着用ください。
- 客席、ロビー等での会話、舞台への掛け声等はご遠慮ください。
- 手洗いと手指消毒にご協力ください。
- 出演者のへのプレゼント、入り待ち、出待ち、楽屋見舞い等はご遠慮ください。
- 劇場バスの運行は中止しております。

国立劇場託児室

この公演は託児室をご利用いただけます。ご利用には、事前のご予約をお願いします。(現在、受け入れ人数を制限しております。)

料金 [0~1歳] 2,000円 / [2~12歳] 1,100円

ご予約・イベント託児・サービス <http://www.mothers-inc.co.jp/>

お問い合わせ ☎ 0120-788-222 [受付時間] 平日午前10時~12時、午後1時~5時